

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2018年
4月

152号

勇躍



玉風
印

宗教法人 真生会

平成三十年信仰目標

徳分を高める

『聞いた教えを

すぐ伝えよう！』

真生会の教えとは！

仏さまの智慧と

仏さまのものの見方を身に付け

自分の運命を変える

在家の法華経教団です。

宗旨宗派は問いません。

どなたでも安心してお越し下さい。

◇どの家庭も毎日が楽しく

ぬくもりと安心のある家庭になる

◇だれでも毎日がイキイキとし

ありのままに輝く自分になれる

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るいい心：（きっとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（人みな仏の子）

開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁
たなか ひでひと

岐阜市の金華山の頂上には小さな岐阜城が建っています。夜には投光器によって暗黒の夜空にくっきりと浮かび上がり、威厳があり崇高な姿となつて岐阜を象徴しています。

子育ても同様、どんな馬鹿な子供でも、非行暴力に走る子供でも、親の積む徳の光で応援し照らし出すなら、暗黒の人生から浮かび出て、少年らしく若者らしく澆^{はつらつ}と希望に向かつて進むでしょう。

親自らが襟^{えり}を正して私生活を改め、誰から見られても恥ずかしくない道を歩み、徳を積み続けければ、子供は善人として立ち上がり、期待の持てる青年になることは間違ひありません。「今に良くなる」と子供を心から信じ、子供の寝姿、後姿を拝んで育てる親になって初めて、人から仰がれる人間になるのです。親から拝まれて育つた子供は、人から拝まれる人となります。

(真実に生きる25号より)

ぶし眞教法話

会長 田中庸仁
たなか つねひと

◇すべての現象は仏さまのメッセージ

眞生会が実践する教えは、諸経中の王といわれる法華經の教えであります。その法華經の深淵なる真理は「難信難解、意趣悟り難し」といわれ、久遠の本仏、宇宙仏である釈尊の教えは、煩惱多き我々凡夫にはなかなか信じることも理解することも難しく、仏さまの本当のお心を知ることとは大変難しいのです。そこで「見聞触知、皆菩提に近づく」といって、様々な自然現象や出来事、人間関係や人の言動は、正しい生き方に気付き、反省と実践によって「すべての人が仏になる」ための仏さまからのメッセージなのです。

自分のまわり起こる出来事や気になる人の言動が、仏さまのメッセージと正しく受け止めることができれば、「苦も楽となり」誰でも幸せになれるのです。

そのためには、

- ① 毎日お経をあげて「我の心」を柔軟にする。
- ② 先祖供養や親孝行、人に役立つ「徳積み」をする。

この精進を続けければ、徳分が高まり徳の器が大きくなって、現実のありのままを喜び、すべてを感謝で受け止める豊かな感性が磨き上げられるのです。

◇正しい目的と方法が大切

年頭に今年は勝ち組負け組がはつきりし、権力闘争や訴訟などのもめ事が起きやすい年であり、怒りを持つと身に災いが及ぶと予見しました。

森友問題に端を発する安倍政権と野党の対立、女子レスリング界のパワハラ問題、相撲界における暴力事件とその対応における貴乃花親方と八角理事長執行部の確執、ビートたけしのオフィス北野からの独立に伴う森社長とたけし軍団の対立など連日TVを賑わす問題も仏さまの計らいという観点で見ればたかさんの学ぶべき示唆しきがあります。

①目的が正しく、方法が正しくなければ事は成らない。

②中道実践。何事も極端のやり過ぎは良い結果を生み出さない。

③実るほど頭を垂れる稲穂かな。本当の実力者は頭が低い。自信と慢心は紙一重。常に謙虚さを失わないこと。

どの問題を見ても、根底に驕りや慢心があります。地位や権力に驕ったり、

自分だけが正しいという慢心、皆さんのお陰という謙虚さの欠如が根底に垣間見えます。

安倍総理の森友問題も、安倍総理の一番の目的である憲法改正に向けて、数の優位に慢心して強引に政権運営をしようとする手法に対する仏さまからのブレーキなのです。

貴乃花親方の暴力反対、角界改革の目的は良くても、傲慢な態度ごうまんで話し合いを拒否し、告発状まで出すという行き過ぎた方法が、自分の足元に火が付き頭を下げる結果を招いたのです。協会側の八角理事長も土俵上で市長が倒れるという想定外の緊急事態をめぐる対応の問題で謝罪をする事件が起きたのも、協会執行部に対する仏さまからのお諭さとしなのです。

貴乃花親方も元々相撲界のプリンスであり、大きな実績を残した大横綱としていづれ角界を担っていく親方ですから、身に降りかかった火の粉によって、本来の貴乃花らしさを取り戻しなさいという仏さまのお慈悲なのです。八角理事長も貴乃花親方も本当に謙虚になれば相撲界も生まれ変わっていくでしょう。そのための仏さまの試験なのでしょう。

実力のある人が謙虚であれば、こんな素晴らしい美しい姿はありませんが、反対に地位や権力、学歴や金の力で強引にことを進めるほど、醜い姿はありません。見るも縁なくも縁、他人事ではなく私たち一人一人が自分を振り返るための教訓なのです。

◇徳とご法が不滅の財産

佐川元国税庁長官の国会証人喚問には、あんなに頭のいい人たちが何故？という苛立ちいらだとあきれられる思いを感じ、気の毒でかわいそうに思える時もありました。皆さんはどう感じられましたか？

公文書改ざんは、前代未聞の不祥事で決して許されることではありません。事件の真相は検察が調査し、司法が裁きを下すでしょう。

しかし、だれが責任者であろうが、どんないきさつがあろうが、佐川元理財局長、元国勢庁長官は「徳の無い人だなあ」と思います。東大卒の超エリートで、キャリアとして日の当たる場所を順調に出世してきた人が、最後に前任者の尻括りしりくくの役が回り、国会で犯罪者の如く悪者扱いされ、名誉ある職を辞任に追い込まれたのは、「徳がなかった」としか言いようがありません。

学歴も地位も努力もあつたのでしようが、肝心な徳がなかつたのです。こんな問題の時に役が回ってきたことが不徳です。事件の前か、済んだ後に役に付けば、こんな不名誉なことにはならなかつたのです。

皆さん、学歴も地位もお金も無いより有つた方がいいでしょう。しかし、それに見合つただけの徳がないぐらい情けない不幸なことはありません。

子供にいくつも高額な塾に通わせたり、小さな時から習い事やスポーツに通わせることよりも、人に好かれ人に尽くせる徳のある子供に育てましょう。

地位や学歴があつても徳がないと、みじめに人生になります。お金があつても徳がないとお金でもめたり、お金ではどうにもならない問題で苦労します。

まず親孝行、家の足したになる。面倒な仕事や人の嫌がらずにやり、給料以上の働きをして、お客様や会社に喜んでもらう人間に育てることです。積んだ徳は非常時に役立ち、学んで身に付けたご法は永遠のもので無くなりません。

◇見守る慈悲、突き放す慈悲

先日、真生寺出入りの植木屋の社長さんが、「会長先生、去年の春植えさせてもらったハナミズキの木も一年たつて背丈以上に成長し、花芽もたくさん付

いてきたので、もう水をやってはいけませんよ。」と言われました。去年の春、植えてもらった時は、根を切つてあるので毎日たくさん水をやって下さい。特に夏場は朝夕しつかりやって下さいと言われていましたので、「まだ春先で寒いからですか？」と聞きますと、そうではありませんでした。

「ある程度大きくなって根もついたので、これから水をやり過ぎると、楽に水がもらえるので根を十分張りません。そうすると木は大きくならず根もしつかり張らないので強い風雨に遭うと倒れてしまいます。あとは自力に任せて放つておけば、自分の力で根を張って大きく丈夫な木に育つからです。」

なるほどそうか！人間の子育ても同じだ。小さな頃はしつかり慈悲の手間暇をかけ、中学か高校か、ある程度大きくなったら、自分の力でやらせて見守る慈悲に切り替え、困って助けを求めてくるまでは、突き放すことも大きく成長させる慈悲なのだと思ひました。植木屋の社長を通じて仏さまが私に教えて下さったのだと思います。入学、進学の嬉しい春、仏縁に近づきご法を学び、正しい子育てを学び、自分の力で大きく力強く育つ徳のある子供に育てましよう！

今月の運勢（5月）

（2018年5月5日～6月5日）

一 白水星

中心的役割を果たし発展活躍の時だが、陰日向のない一貫性と誰に対しても差別をしない温容さがポイント。心静かに粛々と事を進め、気を緩めず最後の仕上げをしっかりとすること。

二 黒土星

大きく羽ばたき上昇発展を続けてきたが、はやる気持ちを抑え、いったん羽を休めること。周囲の動静を見極めながら、エネルギーを蓄え、構想を見直し熟慮するとき。

三 碧木星

雷鳴が天高く轟き、勇

壯活発に物事が強い力で動いていく。勢いが盛んなるが故に自らを正しく保ち、正道を踏み外さないこと。己に勝ち己を律することができれば前途は洋々である。

四 緑木星

周囲との信頼と楽しい交わりが大切な時。私心があつては事はうまく運ばない。実行力がある時なので、心中に誠があれば危険な冒険も勝負してよい。信頼関係がポイント。

五 黄土星

変化の時を迎えている。慌てずどっしり構えて動じないこと。目

標をしっかりと持って進むことが大切だが、大きな壁に直面したら、迂回するか、真っ直ぐ突き進むか熟慮して。

六 白金星

知力、情熱ともに充実している。志を同じくする者を集め、仲良く協力すれば大きな冒険も成功する。しかし、むやみに結集するのはなく、相手をよく見極める眼力が必要。

七 赤金星

困惑し進退窮まるかのように見えるが、困窮を発展の前段階ととらえれば道は開く。一切の言い訳や弁解をしない。苦を毅然として楽

しみ、一旦決心したことは一貫して姿勢を変えなければ吉となる。

八 白土星

転覆崩壊の危険がある。時運に逆らわず、用心して積極的に動かない方がよい。目標だけはしっかりと持ち、ひたすら慎重におとなしく時を持つこと。言動を慎み強引はダメ。

九 紫火星

いよいよ前進の時だが、何かをしようとする時、邪魔者や障害が現れたら、断固取り除くべし。但し安易な気持ちでやってはいけない。明るさと知恵をもって慎重に対処。

しあわせ眼鏡

全力が全力を生み出す。
出来るすべてを出し切る。
努力することが楽しくなければ、ほんものになれない。
楽しくなければ成功しない。
笑顔で全力を出し切ろう。
笑顔がなければ勝負には勝てない、笑顔と笑いと集中。
人を楽しませることが最大の喜び。

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【所沢教会】 | 〒 359-0037 | 所沢市くすのき台 1 - 9 - 5
T E L 04 - 2992 - 8236 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします。詳しくはお尋ねください。